

第52回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会開催ご案内

総会開催にあたって

会長 伊藤 守
(公益財団法人 実験動物中央研究所)

会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、2019年（平成31年）1月25日（金）、26日（土）の2日間、川崎市キングスカイフロントにおきまして、第52回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

今回、総会を開催しますキングスカイフロントは、羽田空港対岸の川崎市臨海部にバイオサイエンスのイノベーションを目指すために設置された地区で、京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区の中核をなします。私どもの研究所は、実験動物の開発と品質管理、動物実験系の確立を目的に、1952年に創設された研究所ですが、7年前に本地区へ移転しました。現在、国立医薬品食品衛生研究所始め60余の機関、企業が集積した新しいライフサイエンスの中心となってきております。

最近の腸内細菌叢とヒト疾患の関連性の様々な報告など、無菌生物学・ノートバイオロジーの研究が新しい局面へと向かっているように感じます。このような状況の中、この新しい地区で、第52回日本無菌生物ノートバイオロジー学会を開催することで、学会の新たな可能性と発展を考える一助とできればと考えます。

今回の総会では、特別講演2題、シンポジウム2題と一般演題から構成しました。特別講演のひとつは、「日本の無菌動物の歴史」という題名で、本学会が無菌動物の作出と腸内細菌叢の研究にどのように貢献してきたかを総括できればと思っております。

会員の皆様には奮ってご参加いただき、キングスカイフロントの雰囲気の中、多くのご発表とご議論をいただけますようお願い申し上げます。

会 期 2019年（平成31年）1月25日（金）・1月26日（土）
会 場 川崎生命科学・環境研究センター（LiSE）
〒210-0821 川崎市川崎区殿町3-25-13 TEL 044-266-0122
参 加 費 6,000円 学生会員 1,000円
懇 親 会 費 4,000円

日 程（一部変更の可能性がります）

会 場	1月25日（金）	1月26日（土）
大会議室（1F）	13:00 - 開会の辞、総会 13:30 - 14:50 一般演題 14:50 - 15:30 特別講演 I 15:30 - 17:00 シンポジウム I 17:00 - 18:00 特別講演 II	9:00 - 10:00 一般演題 10:00 - 11:30 シンポジウム II 11:30 - 12:00 佐々木正五賞授与 閉会の辞
写真室（同上）	18:00 - 18:30 記念写真撮影	
川崎殿町東急REIホテル（1F）	18:30 - 20:30 懇親会	

特別講演 I 「日本の無菌動物の歴史」 実験動物中央研究所 日置恭司
特別講演 II 「D型アミノ酸を介した共生細菌—宿主の相互作用」 慶應義塾大学 笹部潤平
シンポジウム 1 「腸内細菌叢と臨床研究」 東海大学 鬼塚真仁
シンポジウム 2 「新時代を迎えた腸内細菌研究」 理化学研究所 辨野義己

宿泊案内 「川崎キングスカイフロント東急REIホテル」

2018年6月に開業し、本総会会場（川崎生命科学・環境研究センター（LiSE））に隣接しています。懇親会も本ホテル1Fにて開催します。

ご宿泊ご希望の方は、下記URLからお申し込みください。直近の最安値の価格にてご予約頂けます。

www.tokyuhoteles.co.jp/kawasaki-r/

一般演題申し込み

- a. 対象 本学会会員
一般演題の演者と共同発表者は本学会会員であることを要します。未入会の方は日本無菌生物ノートバイオロジー学会事務所へ入会の手続きをしてください。無菌生物学・ノートバイオロジーに関する新しい知見を有する研究で未発表のものに限ります。
- b. 締め切り日 2018年（平成30年）10月31日（水）
- c. 申し込み方法 MS-Word で読み込み可能な文書ファイルで申し込み書を作成の上、E-mail に添付して、学会事務所 gnotobiolosaki@ks.kyorin-u.ac.jp へお送りください。
- d. 申し込み書 ①演題、②発表者（演者の前に○をつけてください）、③所属、④抄録、⑤英文演題、⑥英文発表者、⑦英文所属、⑧英文抄録、⑨演者 連絡先、氏名、生年月日、⑩ TEL、⑪ FAX、⑫ E-mail を明記してください。
①～⑧を「抄録集」B5版見ひらき2頁（和文と英文）に印刷します。
- e. 略語 本学会の会員構成は広範な領域にわたっています。略語（abbreviation）は初出のところに「略さない形」（full term）をお示しください。

例)

第52回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会一般演題申し込み書（2018年10月10日）	
①演題	<i>Helicobacter pylori</i> の自由生活性アメーバ共培養系における生存性の向上
②発表者	○北条 史*, 大崎 敬子**, 米澤 英雄**, 花輪 智子**, 蔵田 訓**, 山口 博之***, 神谷 茂***
③所属	(*杏林大学大学院医学研究科共同研究施設部門実験動物施設部門, **杏林大学医学部感染症学講座, ***北海道大学保健科学研究院病態解析学講座)
④抄録	(1,200字以内) I. 目的（または はじめに, 背景等） <i>Helicobacter pylori</i> は胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍の起因菌であり…… II. 材料（または対象）と方法 <i>A. castellanii</i> Neff 株は6-well マイクロプレートに…… III. 結果, 考察, 結論 共培養系をインキュベーターに静置して……
⑤英文演題	Survival of <i>Helicobacter pylori</i> in co-culture with <i>Acanthamoeba castellanii</i> and their expressions of bacterial genes
⑥英文発表者	○FUHITO HOJO*, TAKAKO OSAKI**, HIDEO YONEZAWA **, TOMOKO HANAWA **, SATOSHI KURATA **, HIROYUKI YAMAGUCHI *** and SHIGERU KAMIYA ***
⑦英文所属	*Institute of Laboratory Animals, Graduate School of Medicine, Kyorin University, Mitaka **Department of Infectious Diseases, Kyorin University School of Medicine, Mitaka ***Department of Medical Laboratory Science, Faculty of Health Science, Hokkaido University, Sapporo
⑧英文抄録	(250 words 以内) <i>Helicobacter pylori</i> is a causative agent for gastritis, gastric ulcers, and duodenal ulcers. Almost 50% of the world's population harbor this gram-negative microaerophilic bacteria...
⑨演者	連絡先, 氏名, 生年月日 〒181-8611 東京都三鷹市…… 杏林大学…… 北条 史 (19……年…月…日生)
⑩ TEL	0422-47-…… 内線……
⑪ FAX	0422-44-……
⑫ E-mail	……@ks.kyorin-u.ac.jp

演題の採否はご一任くださいますようお願い申し上げます。演題が採択されましたら、機関誌「無菌生物」のプロシーディングスとして掲載する原稿をご提出いただきます。詳しくはお申し込み後にご案内いたします。

日本無菌生物ノートバイオロジー学会事務所
〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2
杏林大学医学部感染症学講座 大崎敬子
TEL 0422-47-5511 内線 3464 FAX 0422-44-7325
E-mail gnotobiolosaki@ks.kyorin-u.ac.jp